

第百十六回国
参議院農林水産委員会會議録第七号

平成元年十二月十四日(木曜日)
午前十時三分開会

委員の異動

十二月十三日

辞任

角田 義一君

補欠選任

細谷 昭雄君

出席者は左のとおり。

委員長

仲川 幸男君

理事

大塚清次郎君

北 修二君

上野 雄文君

村沢 牧君

井上 哲夫君

委員

青木 幹雄君

鎌田 要人君

熊谷太三郎君

鈴木 貞敏君

高橋 清孝君

成瀬 守重君

初村滝一郎君

本村 和喜君

一井 淳治君

智野 久光君

谷本 義君

細谷 昭雄君

三上 隆雄君

猪熊 重二君

刈田 貞子君

林 紀子君

橋本孝一郎君

喜屋武眞榮君

国務大臣

農林水産大臣

房長

農林水産省経済

局長

事務局側

常任委員会専門

員

片岡 光君

横溝 克己君

鹿野 道彦君

鶴岡 俊彦君

塩飽 二郎君

本日の會議に付した案件

○農林漁業団体職員共済組合法等の一部を改正する法律案(第百十四回国会内閣提出、第百十六回国会衆議院送付)

○米の輸入自由化反対に関する請願(第一一四号外二四件)

○水田農業確立後期対策に関する請願(第三三五号)

○團芸施設共済における共済目的の拡充に関する請願(第三三六号)

○転作等目標面積の拡大反対、良質米奨励金の現行水準維持等に関する請願(第七七七号)

○米の輸入自由化反対等に関する請願(第七九九号外九件)

○北海道農業の発展に必要な政策確立に関する請願(第八九二号)

○米の輸入反対に関する請願(第二九四二号外一七件)

○中山間地域農山村の農業振興に関する請願(第三二〇四号外三件)

○日本の森林の復元に関する請願(第三二〇五号外三件)

○第八次漁港整備長期計画の促進及び漁港関係事業予算の確保等に関する請願(第四二二五号)

○繼續調査要求に関する件

○委員長(仲川幸男君) ただいまから農林水産委員会を開会いたします。

農林漁業団体職員共済組合法等の一部を改正する法律案を議題といたします。

本案に対する質疑は前回終了いたしましたので、これより討論に入ります。

御意見のある方は賛否を明らかにしてお述べ願います。――別に御意見もなければ、討論は終局したものと認めて御異議ございませんか。

〔異議なし〕と呼ぶ者あり

○委員長(仲川幸男君) 御異議ないと認めます。それでは、これより採決に入ります。

農林漁業団体職員共済組合法等の一部を改正する法律案に賛成の方の挙手を願います。

(賛成者挙手)

○委員長(仲川幸男君) 全会一致と認めます。よって、本案は全会一致をもって原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

この際、上野君から発言を求められておりますので、これを許します。上野君。

○上野雄文君 私は、ただいま可決されました農林漁業団体職員共済組合法等の一部を改正する法律案に対し、自由民主党、日本社会党、護憲共同、公明党・国民会議、連合参議院、民社党・スポーツ・国民連合、参院クラブ、税金党平和の会の各派共同提案による附帯決議案を提出いたします。

案文を朗読いたします。

農林漁業団体職員共済組合法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(案)

政府は、高齢化社会の到来等社会経済情勢の急速な変化の中で公的年金制度の果たす役割が一層重要となっている実情にかんがみ、制度の在り方を見直し、その拡充強化に努めるとともに、

に、本制度の長期的安定を確保するため、次の事項の実現に遺憾なきを期すべきである。

一 公的年金制度の一元化については、その改革の方向を可及的速やかに明らかにすること。

二 本制度については、公的年金制度としての整合性ある発展を期するため、他の公的年金制度の改善にあわせ、今後とも拡充強化を図ること。

また、本制度の改善に当たっては、農林漁業団体の育成及び団体職員の人材確保を図るといふ本制度のねらいが損なわれることのないよう留意すること。

三 本制度の健全な運営を図るため、国庫補助額の確保を図ること。

四 本制度の長期的安定に資するため、所要財源の確保に努めること。

なお、掛金率の設定に当たっては、世代間の公平性を確保し、あわせて急激な負担増を伴わないよう配慮すること。

五 本制度の余裕金の運用については、安全面に十分留意して適切な運用に努めるよう指導すること。

六 本制度の年金の支給開始年齢については、他の共済年金制度の動向を見極めるとともに、農林漁業団体の定年延長や高齢者雇用の推進等雇用環境の整備にも配慮し、適切に対処すること。

七 年金の毎月支払いについては、事務処理体制の整備を図りつつ、その実施について検討すること。

八 農産物の自由化、金融の自由化等農林漁業をめぐる厳しい諸情勢に対処し、本制度に加入している農林漁業団体の経営基盤の安定強化に努めるよう適切な指導を行うこと。

ためには、生産基盤である漁港の整備と併せ生活基盤としての漁業集落の環境を総合的に整備するとともに、働きやすい快適な労働環境の形成に必要な整備を行うことが現下の急務である。平成二年度においては、豊かで潤いのある漁村の建設に向けて、漁業集落環境整備事業の拡充強化を図るとともに、漁港環境整備事業の促進を図れるよう予算の確保を行うべきである。(三)第四次海岸事業五箇年計画は、昭和六十一年度から平成二年度までの五箇年間に農林水産、運輸及び建設の三省が総投資額一兆円をもって、海岸の保全と環境整備等を実施しようとするものである。平成二年度は、この計画の最終年度であるので漁業集落等の安全の確保、並びに快適な海岸環境の創出等のために、海岸事業の一層の促進を図れるよう予算の確保を行うとともに、海岸の整備水準がまだ低位であることから、引き続いて次期長期計画を早期に策定すべきである。(四)国は、財政負担の軽減を図る目的をもって、昭和六十年度以降、公共事業に対する高率補助金の引下げを実施してきたが、これに伴う地方の負担増は自治体に極めて大きな影響を与えている。特に漁港を抱える市町村は、へき地、離島が多い上、公共投資の中で漁港事業の占める割合が極めて高く、財源対策等円滑な事業執行に苦慮している現状である。よって、平成二年度においては、漁港関係事業に対する国庫補助対象の拡大等、総合的に地方負担額の軽減を図れるようにすべきである。

第四四四九号 平成元年十二月六日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 埼玉県春日部市道口蛭田一三六ノ
一ルネ春日部一ノ四〇二 江田久
雄 外八千五百名

紹介議員 市川 正一君
この請願の趣旨は、第七九九号と同じである。

第四四五一号 平成元年十二月六日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 埼玉県春日部市下蛭田二五一ノ三
遠藤和男 外八千五百名

紹介議員 小笠原貞子君
この請願の趣旨は、第七九九号と同じである。

第四四五六号 平成元年十二月六日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 埼玉県南埼玉郡宮代町戸二、一
〇三ノ一八六 神谷百合子 外八
千三百十名

紹介議員 立木 洋君
この請願の趣旨は、第七九九号と同じである。

第四四五八号 平成元年十二月六日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 埼玉県幸手市大字上高野一、四二
六 大塚勝蔵 外八千五百名

紹介議員 林 紀子君
この請願の趣旨は、第七九九号と同じである。

十二月十三日本委員会に左の案件が付託された。
一、米の輸入自由化反対等に関する請願(第四七七四号)
(第四七七五号)(第四七七六号)

一、米の輸入自由化反対等に関する請願(第四八一四号)(第四八一七号)
一、米の輸入自由化反対等に関する請願(第四九二二号)

第四七七四号 平成元年十二月八日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 神奈川県茅ヶ崎市中海岸一ノ四ノ
六八 島本高志 外六百六十七名

紹介議員 林 紀子君
この請願の趣旨は、第二九四二号と同じである。

第四七七五号 平成元年十二月八日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 岐阜県高山市桐生町二ノ三三四
唐牛芳光 外五百名

紹介議員 高崎 裕子君
この請願の趣旨は、第二九四二号と同じである。

第四七七六号 平成元年十二月八日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 横浜港南区日野六ノ一ノ一三
ノ四〇五 黛美紀男 外五百名

紹介議員 小笠原貞子君
この請願の趣旨は、第二九四二号と同じである。

第四八一四号 平成元年十二月八日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 横浜港南区大岡五ノ三五ノ一五
高橋友子 外七千名

紹介議員 小笠原貞子君
この請願の趣旨は、第七九九号と同じである。

第四八一七号 平成元年十二月八日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 横浜市中区山元町二ノ一二〇 上
原哲雄 外七千名

紹介議員 林 紀子君
この請願の趣旨は、第七九九号と同じである。

第四九二二号 平成元年十二月八日受理
米の輸入自由化反対等に関する請願

請願者 宮崎市大橋三ノ一四 武藤ゆかり
外百二十名

紹介議員 神谷信之助君
この請願の趣旨は、第二九四二号と同じである。

平成二年一月六日印刷

平成二年一月八日発行

参議院事務局

印刷者 大蔵省印刷局

P